



録画配信の
2次元コード

丸橋 ユキ

光と風

人口減少をチャンスにつなげよう 空き家から始める地域づくり

◆無秩序な開発を抑え、持続可能なまちづくりのために新築一辺倒からの脱却を

Q 「若い世代の住宅取得支援補助制度」で中古住宅の購入を対象にしない理由は。

A 企画財政部長 新築住宅価格の高騰が続く中、程度の良い中古住宅をリノベーションする需要の増加も見込まれ、空き家対策としての効果も期待できることから、関係機関との調整を図りながら、必要性について検討していく。

Q 立地適正化計画策定とその後の実施にあたって空き家問題をどう捉えているか。

A 都市建設部長 今後、立地適正化計画における「居住誘導区域」への誘導を促す中で、「居住誘導区域外」の空き家増加も懸念されるため、適正管理と有効活用などを調査・研究する必要があると考えている。

Q 空き家バンクとマッチング制度の導入についての検討は。

A 都市建設部長 立地条件や権利関係等の問題により、一般の不動産市場での流通が難しい空き家については、空き家バンクの活用も考えられる。近隣市の運営状況などから、導入効果などを引き続き見極めていく。



空き家の力で地域に笑顔を

その他のテーマ▶外来植物の駆除について



録画配信の
2次元コード

広山 清志

公明党

狭山市の防災準備・対策状況は？

◆自助について

Q 市の住宅耐震化率の状況は。

A 都市建設部長 狭山市建築物耐震改修促進計画によると令和3年3月末で92.4%。令和8年3月末には総務省統計局の住宅・土地統計調査に基づき94.7%を見込んでいる。

◆公助について

Q スフィア基準とはどのようなものか。

A 危機管理監 災害や紛争の被災者への人道支援活動において、給水、衛生および衛生促進、食料安全保障および栄養、避難所および避難先の居住地、保健医療の4分野にわたる最低基準を定めた国際基準。国においては、各種ガイドラインを、スフィア基準に沿った内容に改訂し、各自治体はこれを踏まえて、避難所を運営することとなっている。

Q トイレに関するスフィア基準とは。

A 危機管理監 災害時は避難者50人に最低1基、長期化する場合は20人に最低1基のトイレを確保し、男性用と女性用トイレの比率は、1対3が望ましいとされており、本市では、この基準を踏まえ、災害用トイレカーと簡易仮設水洗トイレなどを導入し、トイレ環境の向上に努めている。



災害用トイレカー（イメージ）